

心臓リハビリテーションの流れ

約
2
週
間

1. 入院

当院に入院された、心筋梗塞、心不全や狭心症、心臓外科手術をされた方がリハビリテーションの対象となります。主治医の診察、薬物療法、カテーテル検査・治療等を行った後にリハビリテーションを開始します。緊急でない心臓外科手術の場合は手術前に、手術に向けた呼吸・排痰指導、術前の身体評価を行います。

2. リハビリ開始

主治医の指示の下、安静度（病状に合わせた動作の制限など）に合わせ、リハビリスタッフによる評価を行い、リハビリの進め方を決めます。もともとの生活レベルや病状に合わせて負荷量を調節しつつ、呼吸や排痰の練習、離床、歩行練習等の運動療法を実施していきます。

病状が安定し、400m以上の歩行が可能となった場合は、心電図モニターを装着し、自転車エルゴメーターや筋力トレーニングにてさらなる筋力・体力の向上を目指します。



約
5
カ
月

3. 退院後の外来リハビリテーション

主治医、病棟看護師、リハビリスタッフ、MSW、患者さま・ご家族の全員で今後の方向性を話し合います。

自宅退院される場合、ご希望の方に外来心臓リハビリテーションを実施していきます。外来リハビリテーション開始時に、全身の身体評価、心肺運動負荷試験を実施し患者さま一人ひとりに合った運動負荷量で自転車エルゴメーターや筋トレを実施し、自宅での自主トレーニングを指導していきます。

